

## 平成27年度 第1回 豊田市地域経営懇話会 会議録

【日時】平成27年10月9日（金）午後3時30分～午後5時00分

【場所】豊田市役所南庁舎7階 南73委員会室

【出席者】（委員） 青木 利元 （稲武地域会議）  
安藤 茂 （豊田市高齢者クラブ連合会）  
宇佐美 英理子 （学生によるまちづくりの会）  
酒井 保彦 （豊田市区長会）  
澤田 恵美子 （豊田市消費者グループ連絡会）  
杉浦 幸枝 （豊田市国際交流協会  
ボランティアグループほづみ会）  
田中 すい子 （豊田市ボランティア連絡協議会）  
田端 稔 （豊田商工会議所）《副会長》  
津村 美紀 （公募委員）  
三崎 祐子 （豊田市ファミリー・サービス・クラブ）  
湊 裕 （連合愛知 豊田地域協議会）  
村野 正章 （公募委員）  
村林 聖子 （愛知学泉大学現代マネジメント学部准教授）  
山中 敏弘 （あいち豊田農業協同組合）

（計14人）

【欠席者】（委員） 柴田 久尚 （豊田青年会議所）  
西原 香保里 （愛知みずほ大学短期大学部教授）  
林 文生 （豊田市PTA連絡協議会）  
山崎 丈夫 （愛知学泉大学附属研究所客員研究員  
・元教授）《会長》

【事務局】 須藤 寿也 （総務部長）  
藤本 聡 （総務部副部長）  
竹内 寧 （総務部行政改革推進課 課長）  
塚田 良 （総務部行政改革推進課 副課長）  
松本 一輝 （総務部行政改革推進課 主査）

【次第】 1 開会  
2 事務局あいさつ  
3 副会長あいさつ  
4 新委員の紹介  
5 議事 地域経営戦略プランについて  
(1) 平成26年度取組実績について【報告】  
(2) 次期戦略プランの策定について【協議】

---

（文責は事務局。訂正することがあります。）

### 【事務局あいさつ】

- ・本日は、第1回地域経営懇話会にご出席いただいておりますが、もう一方で、第8次豊田市総合計画を策定中です。総合計画については、今年度と来年度の2か年をかけて、次の8年間の計画を策定しているところであります。総合計画が将来のまちづくりの計画である一方で、今回皆様に協議していただく地域経営戦略プランは、総合計画を支えるソフト面の計画で、市役所の仕事の進め方、また地域や団体とどのようにして共働を進めていくのかをまとめたものであります。今年度、第1期の計画期間が終了するに当たり、第2期の計画を策定中です。皆様からの意見をいただき、市役所の仕事がより市民の皆様から歓迎されるようなものになるよう努めますので、積極的なご意見を願います。

### 【副会長あいさつ】

- ・他のまちに行くと、豊田市がいかに素晴らしいまちかを実感しました。
- ・まちづくり基本条例の基本理念には「市民と市役所が、共通の目的を実現するために、お互いの立場を尊重し、対等な関係に立って、共働によるまちづくりを推進」と示されています。豊田市がより一層良くなるよう、皆さんからご意見をいただければと思います。

### 【新委員の紹介】

#### ○委員

- ・昨年までは「老人クラブ連合会」でしたが、今年で50年を迎えるに当たり新規一転、名称を「高齢者クラブ連合会」に変え、また中身についても一新しました。当団体の下部組織の名称は、老人クラブのまま変更していない団体もありますが、順次、名称の変更を検討しているところです。まだ分からない点も多いですが、よろしくお願いします。

#### ○委員

- ・私の住んでいる下山地区は、10年前から15年前は、三河湖という観光地くらいしかありませんでしたが、最近は下山地区といえば「テストコースですね」と言われるようになりました。今後は、テストコースを核として、何かやっていかなければならないなと思っています。微力ではありますが、よろしくお願いします。

### 【議事（1）】平成26年度取組実績について（報告）

※質疑なし

### 【議事（2）】次期戦略プランの策定について（協議）

#### ○副会長

- ・何かご意見があれば、よろしくお願いします。

#### ○委員

- ・市から様々な情報が地域に発信されてきますが、地域がついていけない状況にあります。区長は1年から2年で交代するところが多いです。その状況で、市が中長期的な計画を作って地域に発信しても、なかなか地域に浸透していきません。最近、行政OBが地域に参加している割合が少なくなっていると思います。市のスピードの速さに対応するためにも、行政OBが地域のリーダー・核になっていただきたいです。

○委員

- ・共働の推進、地域との連携強化・多様な活動主体との連携強化の部分が、次期プランでも重要になると思います。
- ・しかし、次期プランが3年計画となれば、現状や直近の問題に対して、どのように地域と連携していくのかということだけが課題になってしまうと思います。長期的なことを考えれば、連携強化の取組だけではなく、問題や課題を多くの人と共有する、共働の裾野を広げていくというような取組も必要になると思います。

○委員

- ・先日、TPP が承認されました。中山間地域を多く抱える豊田市として、TPP への対応を検討する必要があると思います。
- ・計画案には、農林水産に触れていませんが、豊田市には素晴らしい地域資源がたくさんあります。そこに目を向けることも重要だと思います。
- ・この計画は、3年計画ということですが、3年というスパンは長いように感じます。私の会社では、1年を10年間と考え、1年遅れた場合は10年遅れたというような考え方を持っています。
- ・また、仮に豊田市の歳入が1,700億円から1,500億円に減った場合のストレスチェックを行うことも重要だと思います。例えば、明日、金利が上がったどうなるのか、下がったらどうなるのか。仮に、猿投山が爆発したらどうなるのか、矢作川の堤防が決壊したらどうなるのか。
- ・この計画案を見ると、盛りだくさん過ぎると思います。正直に言いますと、全部消化できるのか、疑問に感じます。この取組は何が何でも達成する、この取組は計画に記載はするが、次回に見送る可能性もあるといったように、メリハリをつけることも必要だと思います。

○委員

- ・計画案にスクラップ&ビルドという言葉がありますが、市役所はビルドの色が強いように感じます。働く人の立場から考えると無理する必要はなく、お金が無ければ無いなりに取り組んでいくことが重要だと思います。
- ・計画案のところに「歳入確保の強化」とありますが、具体的にはどのような取組を想定していますか。

○事務局

- ・豊田市は他市に比べて、公共施設などを多く抱えています。行政目的を達成した建物や土地を普通財産にしてから売却し、歳入を確保することなどを想定しています。

○委員

- ・豊田市の将来を考えたときに、人口減少はある程度やむを得ないですが、人口構成を重要視する必要があると思います。他市と比べて、高齢化が進み、特に子育て世代の若い夫婦が転出超過で、ここに歯止めをかけないと将来の人口構成が心配です。
- ・計画案にあるシティプロモーションが、子育て世代の転出超過に歯止めをかけるものであるならば、我々のような各種団体とも連携し、より多くの人にPRした方が良いと思います。

○委員

- ・若い人は就職のために豊田市に来ますが、結婚するとみよし・日進・名古屋に引っ越して、鉄道を使って豊田市に働きに出る人が多いと感じます。その要因はなぜでしょうか。また、土地の活用策などは実施していないのでしょうか。

○事務局

- ・若い人の転出超過については、名古屋に近い方が良い、通勤に便利など様々な要因が考えられますが、皆様がお求めやすい金額で、土地の供給できていないのが根本的な問題であると言われていました。
- ・一方で、区画整理事業は多く実施していても、需要に追いついていないという実態もあります。
- ・次期総合計画では、利便性・快適性を含めて提供できる土地を多く用意することを柱に検討しているところです。

○委員

- ・私は豊田市の南の方に住んでいますが、市街化区域の中で土地は余っていません。土地を売ってくださいというチラシがポストに度々入ってきます。一方で、市街化調整区域の中は、虫食い状態で住宅化しています。市街化区域と市街化調整区域の線引きを整理する必要があると思います。
- ・計画期間が3年だと目先の取組だけに目がいってしまいます。目先の取組も重要だとは思いますが、少なくとも3年×3を見据えた上で、取組を考えていただきたいです。
- ・今、高齢者の平均寿命は、男性が81歳、女性が86・87歳だったと思います。60～65歳を定年と考えると、20年程度活動する時間があり、これは大きな集団だと考えられます。高齢者にできることは、ぜひ高齢者に頼ってほしいと思います。

○委員

- ・総合計画と戦略プランが両輪として位置づけられているならば、同じ計画期間でやったほうが良いのではないかと思います。

○事務局

- ・2、3年で職員が劇的に変わることは難しいと思います。目指す姿をしっかりと定めてから、この3年間にどのような取組を実施していくのか整理していきたいと思います。

○委員

- ・主な内部と外部環境変化において「女性の活躍促進・働き方の改革」とありますが、具体的にはどのような取組を検討されているのでしょうか。

○事務局

- ・具体的に決まっていませんが、国の方では朝型勤務・テレワークの検討が行われています。市としても、国の動向を踏まえ、検討していきたいと考えています。
- ・民間事業者では積極的に導入されているフレックスタイム制については、人事院勧告を受け、現在検討しているところです。

○委員

- ・主婦の立場から言わせていただきますと、豊田市はサービスが非常に充実していると思います。しかし、全国と比べて女性の職場復帰が低いです。国だけでなく、市が率先して職場復帰しやすくなる仕組み、例えば職場復帰のための就労支援施設などがあれば良いと思います。

○委員

- ・私は、若いお母さんの話をよく聞く機会があります。上の子どもが保育園に入っていたとしても、下の子を妊娠して産休を取ると、上の子どもは退園するシステムになります。お母さん方は、子どもが保育園に入って、一段落したから、次の子を産もうと考えます。現状の保育システムは、お母さん方にとって負担が大きいという話をよく聞き

ます。

- また、資料の中に、共働の市民認知度の向上とありますが、行政は様々な取組を実施していますが、その取組がどこまで市民に浸透しているのかと疑問に思うことがあります。共働の市民認知度の向上とはどのような取組を想定されているのでしょうか。

#### ○事務局

- 具体的に決まってはいませんが、共働に限らず全体的に市役所職員の情報発信力を高めていく必要があると考えていますので、今回の計画の中では「効果的な情報発信」という項目を掲げ、取り組んでいく予定です。

#### ○委員

- 私は、豊田市に住んで4年になります。現在、子ども会の会長、PTAの会長を務め、来年は組長というように、他市町村に比べ、役職が重なって大変だなと感じています。
- また、以前、住んでいた刈谷市に比べて、豊田市は公園が少ないと感じます。
- 別の行政にもこれまで関わってきましたが、うつ病や引きこもりなど社会に適応ができない人が増えてきていると思います。このような部分にも目を向けて、取り組んでいく必要があると思います。

#### ○副会長

- いろいろとご意見をいただきましてありがとうございました。皆さんからの意見を十分吸い上げて、計画に反映していただきたいと思います。